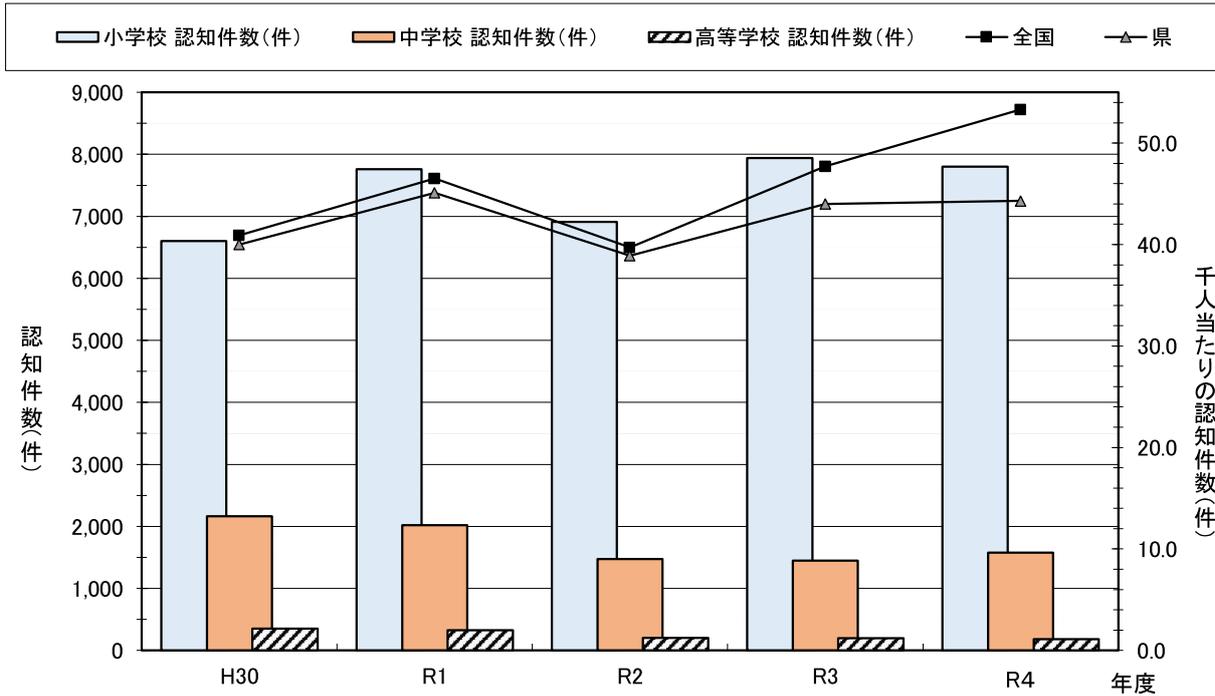


- 小・中・高等学校及び特別支援学校におけるいじめの認知件数は、9,603件（前年度9,668件）であり、前年度より65件（0.7%）減少。1,000人当たりの認知件数は44.3件である。
- 学校種別では、中学校の認知件数が増加し、小学校、高等学校、特別支援学校では減少。増加の背景には、様々な活動が徐々に再開され接触機会が増加したことが考えられ、減少の背景にはこれまで以上に児童生徒に目を配り予防的な支援・指導を行ったこと等が考えられる。

1 校種別認知件数及び1,000人当たりの認知件数の推移



年度		H30	R1	R2	R3	R4	
小学校	認知件数	6,603	7,758	6,910	7,942	7,803	
	前年度増減	2,615	1,155	▲ 848	1,032	▲ 139	
中学校	認知件数	2,166	2,020	1,475	1,450	1,576	
	前年度増減	1,075	▲ 146	▲ 545	▲ 25	126	
高等学校	認知件数	351	325	203	198	180	
	前年度増減	137	▲ 26	▲ 122	▲ 5	▲ 18	
特別支援学校	認知件数	86	95	50	78	44	
	前年度増減	50	9	▲ 45	28	▲ 34	
合計	認知件数	9,206	10,198	8,638	9,668	9,603	
	前年度増減	3,877	992	▲ 1,560	1,030	▲ 65	
	1,000人当たりの認知件数	県	40.0	45.1	38.9	44.0	44.3
		全国	40.9	46.5	39.7	47.7	53.3

(注) 調査対象校: 県内国公立小中高(通信制含む)特別支援学校 713校

2 いじめ発見のきっかけ

[単位：件、%]

区分		令和4年度			令和3年度		
		計	構成比		計	構成比	
			県	全国		県	全国
学校の教職員等が発見		5,553	57.8	63.8	5,795	59.9	66.2
内訳	アンケート調査などの学校の取組により発見	3,538	36.8	51.4	3,688	38.1	54.2
	学級担任が発見	1,690	17.6	9.6	1,788	18.5	9.5
	学級担任以外の教職員が発見	243	2.5	2.4	236	2.4	2.1
	養護教諭が発見	63	0.7	0.3	62	0.6	0.3
	スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	19	0.2	0.1	21	0.2	0.1
学校の教職員以外からの情報による発見		4,050	42.2	36.2	3,873	40.1	33.8
内訳	本人からの訴え	2,352	24.5	19.2	2,241	23.2	18.2
	本人の保護者からの訴え	1,102	11.5	11.8	963	10.0	10.7
	他の児童生徒からの情報	409	4.3	3.6	409	4.2	3.4
	他の保護者からの情報	152	1.6	1.3	236	2.4	1.2
	学校以外の関係機関からの情報	21	0.2	0.1	19	0.2	0.1
	その他（匿名による投書など）	3	0.1	0.1	4	0.1	0.1
	地域の住民からの情報	11	0.1	0.1	1	0.1	0.1
計		9,603	100.0	100.0	9,668	100.0	100.0

(注) 構成比については、各区分における「いじめ認知件数の総数」に対する割合を示す。

3 いじめの態様（複数回答）

[単位：件、%]

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計	構成比	
						県	全国
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	4,498	1,064	99	20	5,681	59.2	57.4
仲間はずれ、集団による無視をされる	1,161	163	32	4	1,360	14.2	11.7
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	2,109	194	11	4	2,318	24.1	23.4
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする	614	57	5	0	676	7.0	6.5
金品をたかられる	48	9	3	1	61	0.6	0.9
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	496	54	3	1	554	5.8	5.4
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたりさせられたりする	364	114	17	2	497	5.2	10.0
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる	92	105	43	6	246	2.6	3.5
その他	384	61	16	8	469	4.9	4.5
計	9,766	1,821	229	46	11,862		

(注) 構成比は、各区分における「いじめ認知件数の総数」に対する割合を示す。

4 いじめの解消の状況

[単位：件、%]

区分	件数	構成比	
		長野県	全国
解消済み ※1	7,892	82.2	77.1
取組中	1,697	17.7	22.8
その他 ※2	14	0.1	0.1
計	9,603	100.0	100.0

※1: 解消済み(下記2項目を満たして解消となる)

① 被害者に対する心理的または物理的な影響を与える行為が止んでいる状態が少なくとも3か月継続。

② 被害児童生徒本人及びその保護者に対する面談等により、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないことが認識できる。

※2: 転居等で一定の人間関係が解消 等

5 いじめ重大事態

[単位：件]

区分	長野県	全国
発生校数	3	844
発生件数	3	923
1号重大事態	2	448
2号重大事態	1	617
1,000人当たりの発生件数	0.01	0.07

(注) 調査対象校：国公立小中高(通信系)特別支援学校 713校

・第1号重大事態とは、「いじめ」により当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。

・第2号重大事態とは、「いじめ」により当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

・1件の「重大事態」が、第1号及び第2号の両方に該当する場合は、それぞれの項目に計上されている。